



「認知症総合支援事業」 の取組状況について



認知症総合支援事業の取組状況について

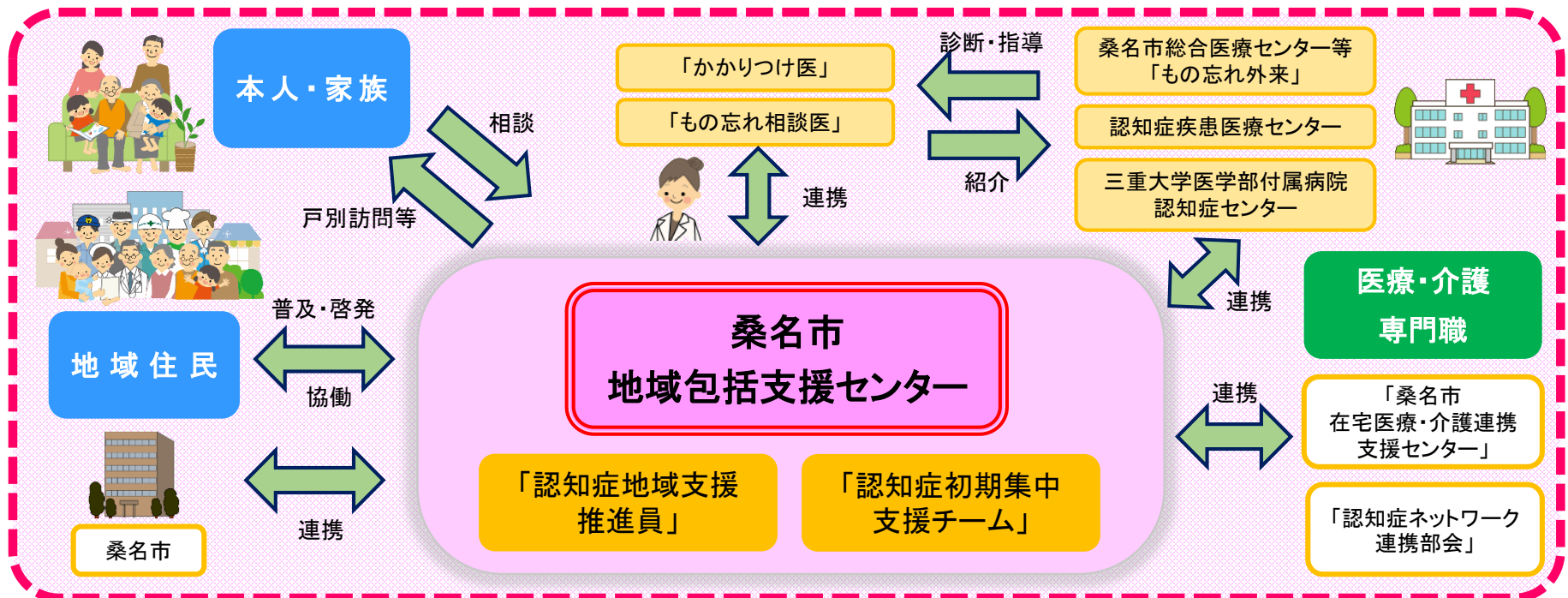
認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

- 「オレンジカフェ」(認知症カフェ)の開催
- 「認知症市民公開講座」の開催
- 「認知症サポーター養成講座」の開催
- 「徘徊SOS緊急ネットワーク事業」の実施
- 「認知症みんなが安心声かけ訓練(徘徊模擬訓練)」の実施

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

- 初期集中支援の実施
- 「くわな認知症安心ナビ(認知症ケアパス)」の作成・更新
- 「認知症ケア多職種協働研修会」の開催

認知症の人やその家族の視点の重視



認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり①

取組状況・方向性

○ オレンジカフェ

平成27年度より開催。認知症の方や家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき集う場となっています。

地域包括支援センターや地域密着事業所、医療機関等が開催。

若年性認知症の家族交流会や認知症の人と家族の会による

「桑名地区のつどい」も開催もされています。



認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり②

取組状況・方向性

○ 認知症サポーター養成講座とは

認知症を正しく理解し、認知症の方への接し方を学び、認知症の人を温かく見守るサポーターを養成します。

○ 平成29年度 2,580名受講

小学校 13校 中学校 2校 高校 2校

企業・職域 8か所（アピタ桑名店、NEXCO中日本、新聞店等）

小学校



企業



認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり③

取組状況・方向性

○認知症みんなが安心声かけ訓練とは
地域住民が徘徊する高齢者への声かけを体験。
徘徊により行方不明になった人が発生したことを想定し、搜索・声か等の訓練を行います。

平成29年度 6地区で実施
(益世、諸戸苑・太一丸、
希望ヶ丘、深谷、新西方、多度)



認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供①

取組状況・方向性

○ 初期集中支援チーム

認知症かも？と思われる方や認知症の症状でお困りの方のご自宅へ訪問し、ご相談に応じたり、医療、介護サービスの説明などを行います。

- ・チームは市内5つの地域包括支援センターに設置しています。
- ・各地域包括支援センターの保健専門職、福祉専門職がチームとなり活動します。
- ・桑名医師会推薦の医師とチーム員会議などで情報共有し、指導・助言などチーム員をバックアップしています。



認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供②

取組状況・方向性

- 「くわな認知症安心ナビ（認知症ケアパス）」の作成・更新

認知症の状態に応じてどのようなサービスを利用することが可能である

かについて、地域資源の「見える化」を図るため、平成27年3月に作成しました。

- 「認知症ケア多職種協働研修会」の開催

保健・医療・福祉・介護専門職等の参加を得て「認知症ケア多職種協働研修会」を

開催しました。



認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに
今後取り組んでいきます！



桑名市
イメージキャラクター
「ゆめはまちゃん」